

会 議 録

会議の名称	令和4年度第9回 岩舟地域会議
開催日時	令和5年2月22日 19時00分 開会 20時07分 閉会
開催場所	岩舟公民館 講義室
出席者氏名	別紙1のとおり
欠席者氏名	別紙1のとおり
事務局職員職氏名	別紙1のとおり
その他出席者等	別紙1のとおり
会議事項	別紙2のとおり
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	なし
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>1. 開 会</p> <p>2. あいさつ 高久会長あいさつ</p> <p>3. 議事 (1) 指定緊急避難場所・指定避難所の見直しについて（情報提供） &lt;説明&gt; 会長 指定緊急避難場所・指定避難所の見直しについて担当課に説明を求める。 担当課 資料に基づいて説明する。 &lt;質問・意見&gt; 会長 担当課の説明を受けて、委員に質問・意見を求める。 会長 市内の避難場所等の中に小学校や中学校があるが、学校の建物と体育館と両方を含めたものか。 担当課 学校ごとに使用する場所の想定が違う。体育館になっている学校と校舎になっている学校がある。 会長 それはどこかに明記されているのか。避難した時に一目でわかるのか。 担当課 市の中で洪水の際に23ヶ所を優先的に開設する避難所として設けている。その中の学校については2階以上とか、体育館とか明記されている。その他の学校についてはその都度安全性を確認して、校舎か体育館かなどを判断するので明記していない。 委員A 避難所において備品とか装具などを置かなければならないといった規定はあるか。</p>

担当課	先に挙げた 23 ヶ所の避難所については一定の備品や備蓄食料などを備えている。その他の場所については地域のまとまったところに備蓄を保管している。
委員 A	一覧表があるかと思うが、請求した場合はもらえるのか。
担当課	今のところ出してない。
委員 A	地域会議の中で防災に関して、この避難所でこういうものを用意していかうかといった議論ができればいいと考えている。そのためにここには何があるっていうのがきちんとわかってた方がいいと思う。
担当課	事務局に後日送付し、皆様に提供する。
委員 B	例えば夜中に災害が発生したとして、ここに掲載されている避難所等に行った時に開いているのか。
担当課	大雨災害が起きた場合については、23 ヶ所の優先する避難所を開け、そちらを皆さんに携帯（緊急速報メール）や防災無線でお知らせする。すべての避難所等が開くというわけではない。台風で夜中にひどい状況になるであろうと想定される場合には、前日の夕方ぐらいまでに自主的に避難できる避難所をまずは開設する。その上で例えば被害の状況によってはさらに避難所を開設する必要があるということになったときには、優先的に開設する避難所を開設する。当然、事前に避難指示や避難所開設の情報は適宜発信していく。線状降水帯のように突発的に発生した場合は、当然即座対応というのはなかなか難しいが、状況によっては夜中であろうと開設、情報発信すべきだろうというふうに思っている。
会長	静和小学校の体育館が最新の免震工事を行っているので、すごく揺れる。避難所になった場合、そういった状況であることも情報として入れておいていただきたい。
担当課	了解した。
委員 C	小野寺の方で小野寺ふれあい館が指定避難所になっているのだが、遠いので、民間企業のサポートで飲み物などを緊急に用意してくれたりしている。地元企業の施設も避難所に入れてもらえると助かる。
担当課	非常に多くの事業者の皆様からお声がけをいただいている。民間事業者様と災害時に様々な協力関係をしていただけるという協定を結んでいる。
委員 A	例えば静和地区公民館には備品が一切ないので、これからそろえていったらいいのではないかという提案を危機管理課にできるのか。2 ヶ所だけでは偏っているのではないか。
担当課	今のところは 23 ヶ所の優先避難所に備品を置くことに限らせていただいている。もし地震災害などで必要になった場合は、岩舟総合支所、大平南小学校などから調達してくることになる。
委員 A	備品を持って来るといっても持って来れない場合もある。地域に防災拠点を設置という地域の声はたくさんある。2 ヶ所の避難所以外に小規模の場所が整備されてもいいと思う。地域会議からも声を上げるので、行政も聞いていただきたい。

委員D	今後、災害は増える一方ではないかと考えている。見直しというのは減らすだけでなく、増やすということもあると思う。耐震面で減らすという施設もあるが、耐震工事をして復活させることもあるのではないか。減らすというよりは、避難所の耐震工事もしくは新たな避難所等を開拓することも考えていただきたい。
担当課	避難所の数については今のところは増やしていく計画はない。県内のうち佐野、小山、足利の中でも避難所に指定された建物が 100 以上というのは栃木市だけで、その中でも効率的に運用していくために、耐震性のない建物などを今回解除させていただくという方向である。今回 15 ケ所解除するがそれでも県内の市の中では一番避難所が多い状態である。ただ例えば耐震工事などで選定基準と国の基準に基づいて合致すれば再指定ということもありうる。
会長	以上で指定避難指定緊急避難場所・指定避難所の見直しについての情報提供は終了する。またこれにて担当課には退席いただくこととする。
	— 担当課退席 —
	(2) 岩舟地域未来ビジョンについて
	<説明>
会長	岩舟地域未来ビジョンについて事務局に説明を求める。
事務局	資料に基づいて説明する。
	<質問・意見>
会長	事務局の説明を受けて、各委員より意見を求める。
委員B	キャッチコピーの部分で、まちづくりのテーマとのつながりに合わせ「歴史文化・産業を活かすまち」を「歴史と文化・産業を活かすまち」にした方がいいのではないか。
会長	多数決により「歴史文化」か「歴史と文化」を決める。
委員一同	「歴史と文化」が多数により「歴史と文化・産業を活かすまち」に決定。
委員E	これだと文化と産業が一緒のような感じになってしまうのではないか。
会長	「歴史・文化・産業を活かすまち」で良いか。
委員一同	了承
	(3) その他
	委員、事務局からなし
	4 事務連絡
	<説明>
事務局	資料にもとづいて説明する。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤羽根遺跡案内板リニューアル事業の完了について</li> <li>・実働組織の活動について</li> <li>・地域自治の見直しに関するアンケート調査の結果について</li> <li>・各委員の第4期に関する意見、感想を述べていただく</li> </ul>
委員B	地域予算提案事業は箱ものになりがちである。目に見えないが長い目でみれば有益なものも提案したいと思ったし、逆に今後していただきたいと思った。
委員F	最初に聞いたときは全くわからなかったが、時間が経つごとに段々わかってきた。色々な会議に参加してきたが、この地域会議に出た時も幅広い意見が出ていたところはとても有意義だった。問題点も自分の行動範囲でないところまで広がっていてとても勉強になった。歯がゆく思ったのは、皆さんの強い思いでやりたいこと、早くやった方がいいことが進まなかったり、市との思いの違い、予算でできることの違いを感じた。
委員D	子供の活動、子育て、学校との繋がりなど子ども関係のことで話ができたらいいと思っていたが、そういう話題はあまり出なかった。学校や子供にお金をどう使うか、市や地域としてどうやっていったらよいかの拳がっていたらよかったのではないかと思った。また、地域会議に参加して、市民会議や我が事・丸ごと協議体ともリンクしていることを感じた。
委員E	自分の周りのことはわかるが、それぞれの地域で色々あることは把握できていなかった。色々な団体活動で地域会議委員の皆さんと関わりがあるが、もっと多くの方が地域会議委員になって、それぞれの考え方を言える場所となればいいのではと思った。地域予算提案事業は2年間で区切っていて、やりたいことはあってもそこにはお金が絡み、どのくらいかかるのかわからない状態で提案すると、結局できないということがあった。
委員G	皆さんの意見に圧倒した。今後も勉強していきたい。
委員C	赤羽根遺跡案内板が地域予算提案事業でできて良かったと思った。アンケートのなかで、小中高大学生にアンケートをとったらどうかというのがあったが、大学高校生でまちづくりをやっている人が参加できたらいいと思う。
委員H	岩舟の地域のことが色々わかって勉強になった。
委員A	地域会議委員は各団体の代表で構成されているわけだが、各団体の意見を吸い上げられたかどうか後悔している。地域予算提案事業で提案した事業が、本当に地域が満足したものだったのだろうか。予算ありきの会議になり、わくわくする議論ができなかったのも反省するところである。連続性のある成果、皆さんが満足していけるような成果、そういうものがとても大事だということを改めて感じた。この会議が続くのであれば、地域の代表として地域の声を隅々まで聞いて地域が満足できるようなものに取り組めるという地域会議のメンバーとして誇れるような、そういう委員としてやっていただくといいのではないかと思う。地域づくりは実働組織と両

委員 I	<p>輪で連携をしなければ絶対に無理なので、これから色々な意見を聞きながら成熟していくといいと思った。</p> <p>色々な会議に出ていてわかっているつもりでも、やはり自分の近くしか見ていなかったというのがわかった。その地区によっての問題点もあると思った。地域予算で提案した中学生のスケアードストリートにも参加させてもらって、子どもを守るのはこの会議あってなのではないかと実感した。地域予算がなければ、学校側や保護者が負担して学校の授業になっていたかもしれない。子供の遊具に関しても、作る時は行政が作るが、使えなくなったらそのまま何年も放置される。本来は行政がやることだが、皆さんの意見で危ないところも撤去できたのは、この会議があってからこそだと思った。上下水道関係の会議にも出ているが、水や水の料金についても意識が変わった。地域や市のことが見えてきた。</p>
副会長	<p>地域予算提案事業で観光関係をやることになって良かったと思っている。まだ今年度できなかった事業が残っているので、次の委員の方々に引き続き検討していただきたい。</p>
会長	<p>会長として会長が集まる連絡調整会議に出ている。実働組織と両輪ということで連携をとっているが、岩舟はすごく活発に連携をしている地域なんだとつくづく思った。まるっきり別という地域もある。岩舟地域は岩舟のやり方で着実に予算の提案を進めてきたと思う。それも委員の皆様や実働組織の方々のご協力からだと思う。ただやはり本来なら市がやるべきことをやらざるを得ない面が多々ある。今後はそういうものも含めて、岩舟地域独自で何か進めたらいいのではないかというふうに思いつつ、それは次の委員さんにまかせていきたい。2年間ありがとうございました。</p>
事務局	<p>以上で本日の会議は終了する。</p> <p style="text-align: center;">— 閉会 —</p> <p>(会議終了時刻 午後8時7分)</p>

別紙1 出席者及び事務局

出席者（委員）

会長	高久 厚子	副会長	斉藤 栄吉
委員	越沼 和子	委員	越沼 善美
委員	瀬下 敏明	委員	栃木 光子
委員	永島 仁一	委員	永田 昌弘
委員	寺澤 保之	委員	広瀬 昌子
委員	深津 智子		

欠席者（委員）

委員	川原井正敏	委員	小暮 實
委員	相良 栄	委員	佐山 幸一
委員	田中正太郎		

その他出席者

高久 一典（危機管理課課長）  
松永 儒（危機管理課主査）

事務局

堀江 克実（岩舟地域づくり推進課課長）  
永島 博（岩舟地域づくり推進課課長補佐）  
打木 洋子（岩舟地域づくり推進課主査）  
堀江 裕美（岩舟地域づくり推進課主査）

## 別紙2 会議事項

1. 開 会
2. あいさつ
3. 議 事
  - (1) 指定緊急避難場所・指定避難所の見直しについて（情報提供）
  - (2) 岩舟地域未来ビジョンについて
  - (3) その他
4. 連絡事項
5. 閉 会

## 資料配布一覧

指定緊急避難場所・指定避難所の見直しについて

資料1 岩舟地域未来ビジョン（案）

地域自治制度の見直しに関するアンケート調査票集計結果

静和まちづくり協議会広報誌